

## 横浜市再生可能エネルギー活用戦略の策定について

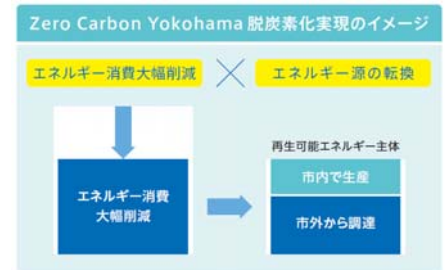
### 1 策定趣旨

平成30年10月に横浜市地球温暖化対策実行計画を改定し、2050年も見据えた脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」の実現を掲げました。この実行計画では5つの将来像を定めており、そのうちの一つに「再生可能エネルギーを主体として巧みに利用しているまち」を設定しています。

そこで、再エネの戦略的な利活用についての具体的な道筋を描くため、再生可能エネルギー活用戦略を策定します。

脱炭素化実現のイメージは、徹底した省エネと必要なエネルギーをすべて再エネに転換することであり、再エネの導入拡大を中心に、再エネの地産地消（市内調達）、市外調達<sup>\*</sup>の視点も踏まえながら、実行計画の中期目標である2030年度までの当面の施策を具体化し、とりまとめます。

<sup>\*</sup>市外調達については、平成31年2月6日に東北の12自治体と連携協定を締結し、域外からの再エネの調達に向けた取組を進めています。



### 2 策定の進め方

再生可能エネルギーの活用・転換は、様々な施策に関係し、また取組にあたっては横断的な連携が重要であることから、戦略の策定及び具体的な施策の推進について庁内横断的に進めるとともに、必要に応じて外部有識者への意見聴取を行います。

### 3 検討項目

- (1) Zero Carbon Yokohama 達成時の絵姿  
エネルギー消費量の想定及び再生可能エネルギーの想定
- (2) Zero Carbon Yokohama 達成に向けた推計  
2030年時点におけるエネルギー消費量の削減量及び再エネの導入量の想定
- (3) 再生可能エネルギーの戦略的拡大施策  
市内調達、市外調達、省エネ及び再エネ転換含む実行計画の個別施策の具体化

### 4 策定スケジュール（予定）

- (1) 市会での報告  
令和元年第2回定例会…再エネ戦略の策定について報告（検討項目、スケジュール）  
令和2年第1回定例会…再エネ戦略（案）を報告
- (2) 再エネ戦略の策定期期  
令和2年3月頃 再エネ戦略の策定